

★日本の初夢

―非武装・非戦の国 日本―

◆私たちが「浜松市憲法を守る会」は四十三年間、非武装・非戦の国を日本のあるべき姿として訴えてきました。これは今年の日本の初夢です。

★日米同盟を見直す年

◆今、沖縄の普天間基地の移設問題は単なる軍事基地移設問題から日米同盟を見直す機運に移ってきています。すなわち米軍の基地の問題から日米同盟の意味するものが問われているのです。

◆今まで、日米安保はアメリカが日本を守る条約だと思われてきました。しかし、米軍再編構想とともに、それはアメリカの軍事目的の踏み台であることがわかってきました。

◆すなわち日米同盟とは日本がアメリカと一緒に戦争をする軍事同盟であることがわかってきたのです。今年は、第一歩としてそこから見直さねばなりません。

★日米（軍事）同盟を日米（平和友好）同盟へ

◆中曽根元首相は「日米同盟は世界の財産だ」（*）と言いました。私たちは全くそう思いません。「日本国憲法第九条こそ世界の財産」だと思います。

◆私たちは、日米安保条約を解消し、日米の同盟を軍事同盟ではなく友好平和同盟に変えてゆくことを提唱します。日米安保50年の今年こそチャンスです。

★非武装・非戦の国に向かって

◆いま、北方四島返還も外交課題になっています。私たちは、もし四島が還つてきたら、まずその地域を非武装地域とすることを提唱します。そして、沖縄、日本全土も非武装・非戦地域とするのです。

◆非武装・非戦の国日本。それは六十四年前、現憲法の前文と第九条で世界に約束したことです。

◆非武装・非戦は荒唐無稽なことではなく、いま世界に軍備を持たない国が27もあり、日本は憲法第九条があるにも関わらず軍備を持っています。私たちは時間が経つても28番目の国になろうではありませんか。これが今年の日本の初夢です。

（*）2009年12月28日付日経記事「2010年日本と世界」

二〇一〇年一月一日（日） 第五一五回憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会

事務局

浜松市中区紺屋町三〇一―一五

★月例護憲平和行進

毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合